



ふるさとさやま発見研修

～ 令和2年度大阪狭山市教職員研修 ～

令和2年8月18日(火)に、初任者・10年経験者・今年度転任者を対象に大阪府立狭山池博物館で研修を実施しました。

研修1大阪管区気象台気象防災部予報課の技術専門官の方から、「異常気象発生メカニズムと防災教育」について、講義していただきました。大雨や台風がもたらす被害、地球温暖化による雨の降り方の変化と特徴、熱中症予防等、具体的な事例の紹介を交えながら、災害から身を守るために必要な防災気象情報の入手方法と活用について教えていただきました。



研修2「史跡狭山池の歴史について」では、狭山池博物館の吉井副館長より、狭山池の歴史や博物館内にある展示物等について、映像資料を交えて講義していただきました。参加した先生方からは、「狭山池が防災ダムとしての働きを担っていることを知らなかった」「古墳時代の石棺が残っていることに驚いた」等の声があり、新たな学びを発見する良い機会となったと思います。

研修3「狭山池博物館内見学」は、密にならないよう配慮して行いました。入口付近にある巨大な堤や水路工事の技術の説明、複数の石棺等、吉井副館長の講義と関連した有意義な見学を行うことができました。



研修を受講された先生方には、今回の研修で学んだことを授業づくりに活かしたり、子どもたちに発信したりしていってくださることを期待しています。

社会体験研修

新規採用2年目教員を対象に、夏季休業中の8月11日(火)から21日(金)の期間に、2半日間の「社会体験研修」を実施しました。今年度は、子育て支援・世代間交流センター“UPっぷ”、子育て支援センター“ぽっぽえん”、市適応指導教室“フリースクールみ・ら・い”の3か所で実施しました。

7月21日(火)の事前研修では、研修の目的である「地域社会との連携を図ること」「教員としての資質向上を図ること」の2点を確認するとともに、“フリースクールみ・ら・い”の教育相談員の石丸先生・北中先生から進路選択支援の取組みや「み・ら・い」の通室生の状況等について紹介していただきました。研修当日に向けて、参加する先生方は本研修を通して学びたい課題を明確にするために研修計画書を作成しました。例えば、就学前の子ども



やその保護者との関わり方、子どもが安全に過ごすための危機管理について、

適応指導教室に通室する子どもへの接し方や適切な声かけ等、「何を学びに行くのか」について各自で課題設定を行いました。研修当日、普段と違う環境下ということもあり、とまどいを感じていた先生もいましたが、研修後半になると積極的に子どもたちへ関わり、少しでも多くの学びを吸収しようと熱心に取り組んでおられました。

今年度の市教委主催の研修につきましては、夏季休業期間の短縮に伴い研修内容を厳選しての実施となりました。ご協力いただいた関係機関の皆様、本当にありがとうございました。